

〔栃木県多面的機能支払交付金通信〕

編集・発行 栃木県農地・水・環境保全向上対策推進協議会 〒321-0901 宇都宮市平出町 1260

TEL : 028-660-5702 FAX:028-660-5713 E-mail : nouchimizu@tcgdoren.or.jp

URL : http://www.tcgnouchimizu.net/

○法律の施行に伴い継続・新規組織とも手続きが必要です

4月1日に「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」が施行されます。

これにより、多面的機能支払の活動を実施するためには、市町から事業計画の認定を受ける必要があります。

〔新規組織〕

①組織の設立

↓ 活動を実施する組織を設立します。

②事業計画の作成

地域で取り組む活動について、事業計画（原則5年間）を作成します。

- ・事業計画書
- ・活動計画書
- ・活動組織規約
- ・工事に関する確認書
(資源向上支払を取組む場合)
※土地改良区等市町以外の者が所有または管理する施設を活動対象とする場合

〔継続組織〕

①事業計画の作成

従来の活動内容に変更がない場合は、新たに事業計画のみを作成し、既存の活動計画書等を添付します。

- ・事業計画書
- ・活動計画書
- ・参加同意書
- ・追加活動申請書
(平成26年度に作成している場合)

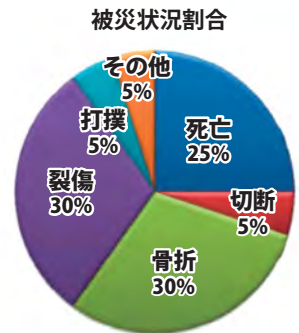
③申請書類の提出（市町へ）※事業計画は、市町が認定します。

※詳しくは、市町の担当窓口にご相談ください。

○活動作業時は安全対策に努めましょう！

近年、活動組織の実施する作業での**死傷事故**が報告されています。

【主な事故例】・草刈り機の接触、水路への転落など



作業する際には、次の点に注意しましょう。

- 安全な作業方法の周知徹底（組織内での作業前ミーティングの実施）
- ヘルメット着用、十分な作業間隔の確保
- 傷害保険等への加入徹底

◇◇◇◇◇県協議会名称変更のお知らせ◇◇◇◇◇

平成27年4月1日から『**栃木県農地水多面的機能保全推進協議会**』に名称が変わります。

平成 26 年度関東農政局管内

多面的機能支払推進シンポジウムが開催されました

平成27年3月9日、関東農政局において、約200名の関係者を集め、「平成26年度関東農政局管内多面的機能支払推進シンポジウム」が開催された。

【組織活動の推進や支援についての事例発表】

- ・千葉県睦沢町地域振興課 内山裕介氏
- ・群馬県農政部農村整備課 稲木一秀氏
- ・静岡県磐田用水東部土地改良区 長島康男氏

【パネルディスカッション】

- ・関東農政局農地整備課古川農地・水保全管理室長のコーディネートで、多面的機能支払交付金制度を導入しての効果などについて意見交換を行った。



第 8 回栃木県元気な農業コンクール いきいき農村部門農村環境保全向上の部 氷室みどりの郷（宇都宮市）が「とちぎ元気大賞」を受賞

平成 27 年 2 月 4 日、栃木県公館において第 8 回栃木県元気な農業コンクールの表彰式が行われました。農村環境保全向上の部では、氷室みどりの郷（宇都宮市）が「とちぎ元気大賞」を受賞した他、8組織が各賞を受賞しました。

農村環境保全向上の部は、農村環境や景観の保全等、活動を表彰するもので、隔年で開催されます。



農村環境保全向上の部 受賞者記念撮影

とちぎ元気大賞（栃木県知事賞・関東農政局長賞）
氷室みどりの郷（宇都宮市）

弁天沼の周囲を覆うように茂っていた竹林の伐採や整地、ポピーやアジサイ、芝などを植栽し、地域のシンボルとして憩いの場となっている。また、弁天沼周辺では、国蝶のオオムラサキの生息が確認されていることから、地域内外の4か所にオオムラサキの飼育舎を設置し、地元の小学校と連携を図り幼虫の保護や羽化した成虫の放蝶会などを行っている。



弁天沼周辺に芝を植栽



弁天沼を整備、ポピーを植栽

オオムラサキ飼育舎



オオムラサキの放蝶会



とちぎ元気賞（栃木県知事賞）
小山用水保全協議会〔鉢形環境保全会〕（小山市）

農業用水や地域の憩いの場としても親しまれる「山田沼」で、間伐材や炭を利用した浮き島による水質浄化や桜・アジサイ・ヒガンバナ等の植栽を行っている。また、山田沼周辺の生きものの生息状況をまとめた「田んぼのまわりの生きものマップ」は、平成22年度の県協議会マップコンテストで最優秀賞を受賞している。



間伐材を利用した浮島

とちぎ元気賞（栃木県知事賞）
金田北部地域環境保全会（大田原市）

「池の御前湧水地」、「銘木エノキ」、「おかんじち湧水地」の3つのシンボルの保全・整備に地域が一体となり取り組んでいる。中でも「おかんじち湧水地」周辺でイトヨの生息が確認され、県内外の専門家とも連携し、生息に適した環境を整備するなど保護・繁殖活動にも取り組んでいる。



おかんじち湧水地

【その他の表彰組織】

特別賞（栃木県農業協同組合中央会長賞）	上延生地域資源保全会	（芳賀町）
特別賞（下野新聞社長賞）	大本・小葉・松沼・飾り馬の里	（小山市）
優良賞（栃木県農政部長賞）	岩崎自然環境保全会	（日光市）
	前沢環境保全会	（益子町）
	諸杉まちづくり推進委員会	（塩谷町）
	越堀自然を守る会	（那須塩原市）

平成26年度第2回栃木県農村地域資源保全向上対策委員会を開催

平成27年3月11日、県庁において平成26年度第2回栃木県農村地域資源保全向上対策委員会が開催され、平成25年度農地・水保全管理支払交付金の実施状況と本年度の多面的機能支払交付金の取組状況について県から報告し、委員から意見をいただきました。

- 【主な意見】
- ・土地改良区等への事務委託などの方策を広める必要がある。
 - ・生態系保全に向け、具体的事例をPRすることが必要である。



久那瀬農地水環境保全会（那珂川町）が文部科学大臣表彰を受ける

平成26年12月18日、文部科学省において「平成26年度優れた『地域による学校支援活動』推進にかかる文部科学大臣表彰式」が行われ、久那瀬農地水環境保全会（那珂川町）が表彰されました。

久那瀬農地水環境保全会は、ビオトープや魚道の設置、生きもの調査などを通じ、馬頭高校の生徒や地域の子供たちに環境教育の場を提供するとともに、久那瀬の農村環境を保全していく意義を次世代に伝えていく活動が、学校支援活動として高く評価されました。



「久那瀬農地水環境保全会」
高野二千夫代表ほか



高校生等との生きもの調査

活動組織からの声

活動内容

平成20年度から農地・水の事業に取組み、排水路の清掃や草刈り、農業用施設等の保安全管理を土地改良区と連携し定期的の実施しています。

また、長寿命化の活動では、排水路の敷コンクリートの整備のほか、老朽化した15基の揚水機の更新を進めており、平成28年度までにすべての揚水機の更新が完了します。



大塚田んぼの会（栃木市）



特徴的な取り組み

栃木市立国府北小学校と連携し、生きもの調査を実施しています。また、植栽やサツマイモの作付け体験を地域の皆さんと行っています。



遊休農地にポピーを植栽しました



今年も大豊作

	協定農用地	対象農用地
田	13,561 a	13,561 a
畑	1,766 a	1,766 a
	15,327 a	15,327 a

◇◇◇生き物調査を行った感想！◇◇◇

はじめは恐る恐るだった子供たちが、時間が経つとともにキャーキャーと歓声を上げ、夢中で生きものを追いかける姿が微笑ましかったです。



また、最近見かけないマイコアカネというトンボが確認出来たのには驚きました。

◇◇◇サツマイモの作付け体験！◇◇◇

植え付け準備や管理は、役員が行っており大変です。

5月の苗の植付けや11月の芋掘り体験は、爺ちゃん婆ちゃんから孫まで一家総出で楽しんでくれています。

収穫後は、参加者全員で焼き芋を食べ、秋の味覚を堪能しました。



◇◇◇今後の目標◇◇◇

豊かな農村環境「大塚の地」を保全していくため、エコ農業への取り組みや二条大麦畑の景観を生かす取り組みなど、地域の人々の協力を得ながら、また楽しみながら発展させていきたいと思ひます。

生きものシリーズ トンボ（ナツアカネ、アキアカネ）

ナツアカネ、アキアカネ、は“夕焼け小焼けの赤とんぼ～”でおなじみのトンボ（蜻蛉）で、平地の水田や池などでよく見かけるポピュラーなトンボです。ナツアカネとアキアカネは下図のように、胸部の模様で見分けます。一見同じように見えますが、今度じっくり観察してみてもは…!?

ナツアカネはとがらない アキアカネはとがっている

